

## ジェンダー平等に関する住民意識調査 中間のまとめ(速報)からの

## 主な変更点

## 第3章 調査結果の概要(資料1-3 P9~11) (一部抜粋)

## &lt;ジェンダー平等意識について&gt;

- 社会全体として「男女平等になっている」と回答した人の割合は14.1%であり、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性の方が優遇されている』と回答した人が半数以上となっている。性別でみると「男女平等になっている」と回答した人の割合は男性19.4%に対し、女性9.4%と、男女で差がみられる。(問1)
- 各分野における男女平等の実現度合いをみると、「男女平等になっている」の回答は、「家庭の中」「学校教育の場」「職場の中」では3割台(37.7%、34.0%、31.5%)に対し、「政治の場」(7.9%)では1割未満となっている(問1)。
- 「男は仕事、女は家庭」という考え方に対する意識をみると、「どちらかといえばそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた『そう思わない』と回答した人の割合は約半数(49.6%)であり、「そのとおりだと思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』(16.4%)に対して3倍となっている。男性では「どちらともいえない」が37.8%と最も高く、女性では「まったくそう思わない」が33.6%と最も高くなっている。(問2)

## &lt;豊島区における取組について&gt;

- 現在、区が力を入れていると思う取組について、「わからない」と回答した人は6割となっている。一方、力を入れていると思う取組と今後、特に力を入れてほしい取組の上位は共通しており、意向の高い取組は「性別に関わらずすべての人に向けたワーク・ライフ・バランスの推進」が28.0%と最も高く、次いで「DV・性暴力等あらゆる暴力の根絶」が23.8%、「多様な性自認・性的指向の人々への支援・理解促進」が11.5%となっている。(問29)

## 第4章 調査結果

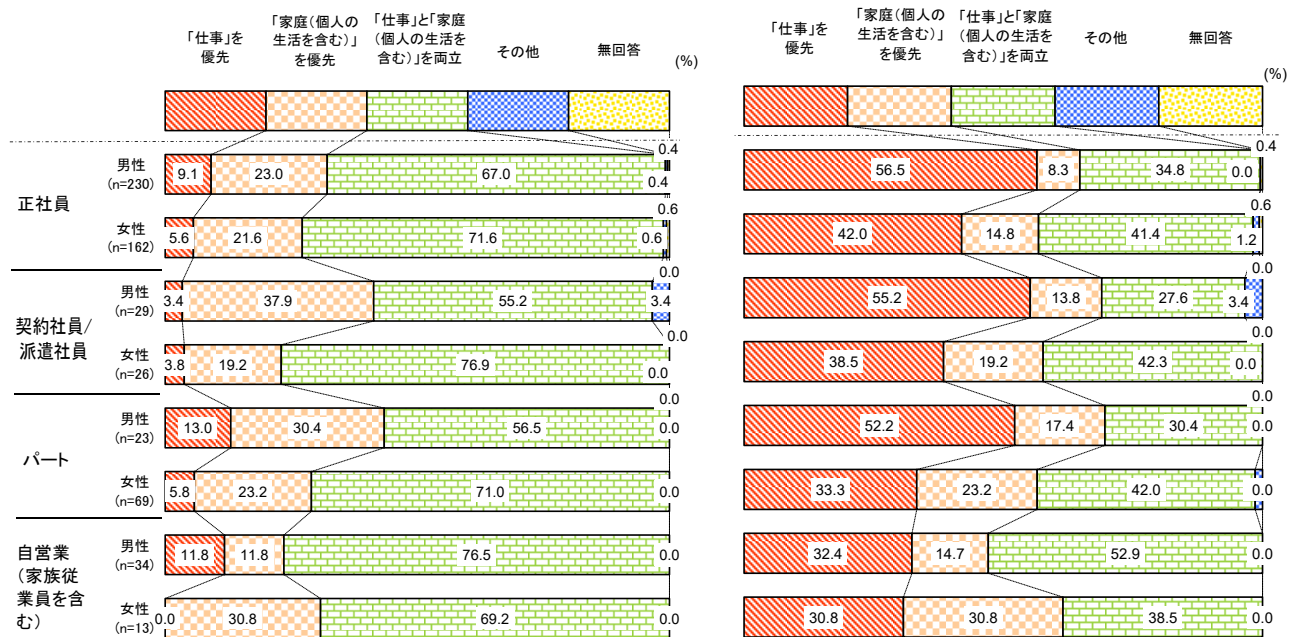
問7 F4で「1～5（就労している）」と回答した方におたずねします。  
 あなたは「仕事」と「家庭（個人の生活を含む）」について、どのような状態が理想だ  
 と思いますか。また、現実はどうですか。（回答は1つずつ）（資料1-3 P36）

### 【性別・職業別】

いずれも理想では「仕事」と「家庭（個人の生活を含む）」を両立が最も高くなっている。  
 現実では、正社員では「仕事を優先」が最も高く、パートの女性と自営業（家族従業員を含む）  
 の男性では「仕事」と「家庭（個人の生活を含む）」を両立が最も高くなっている。

#### <理想>

#### <現実>

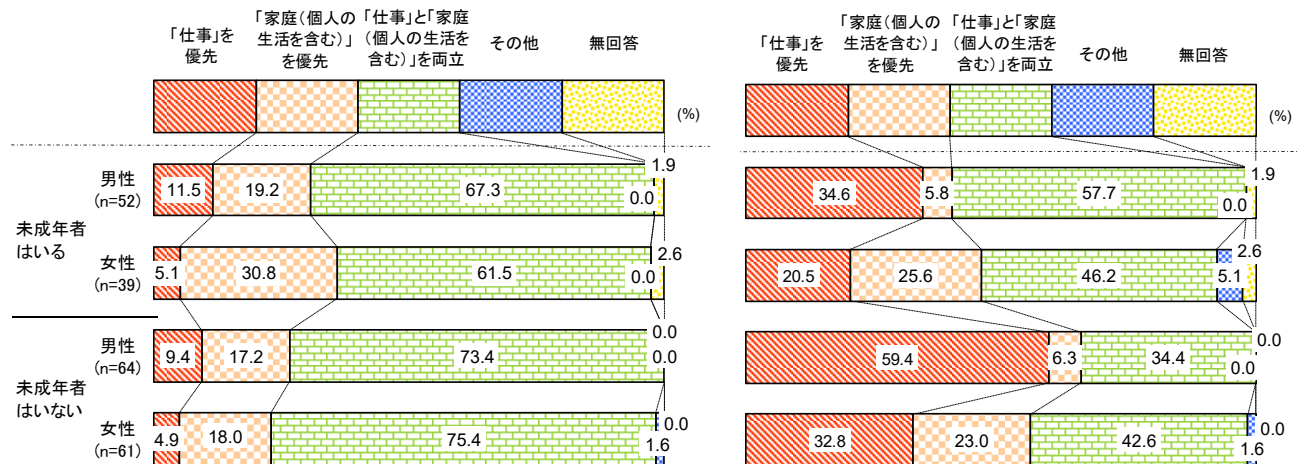


### 【性別・同居している一番下の未成年者の状況別】※親と子・三世帯・その他世帯

いずれも理想では「仕事」と「家庭（個人の生活を含む）」を両立が最も高くなっている。  
 現実では、同居の未成年者がいる場合、「仕事」を優先が未成年者がいない場合より低くな  
 っている。

#### <理想>

#### <現実>



○分析文について（一部抜粋）

※青字：委員からの意見による変更部分 赤字：その他変更部分

問1 次の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。それぞれ選んでください。（回答は1つずつ）（資料1-3 P13）

【性別】

男女ともに、「男女平等になっている」で最も高いのは、「家庭の中で」で、それぞれ、42.1%、33.8%となっている。一方、最も低いのは「政治の場で」でそれぞれ、11.7%、4.3%となっている。

また、『男性の方が優遇されている』に注目すると、『制度や法律の上で』では、男性31.4%（123人）、女性60.1%（249人）、『地域活動の場で』では、男性23.2%、女性44.0%（182人）、『社会通念・慣習・しきたりで』では、男性55.4%（217人）、女性76.1%となっている。すべての分野で性別による差がみられる。

『社会全体として』（資料1-3 P14）

【性別】

「男女平等になっている」は、14.1%であり、男性19.4%に対し、女性9.4%と10ポイントの差がある。また、『男性の方が優遇されている』は、男性43.9%、女性70.3%、『女性の方が優遇されている』（『女性の方が非常に優遇されている』と『どちらかといえば女性の方が優遇されている』の合計）は、男性16.1%、女性4.1%となっており、性別による差がみられる。

問3 無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）という言葉を知っていますか。（回答は1つ）（資料1-3 P23）

【性別】

男女ともに『感じたことがある』（『自分の行動に影響を与えたと感じたことがある』と『他人の行動に影響を与えたと感じたことがある』、『自分や他人の行動に影響を与えたと感じたことがある』の合計）が8割以上となっている。

※その他、分析文の表現の統一とグラフの体裁の微修正

第5章 自由回答(資料1-3 P101~102) (一部抜粋)

No.	意見内容	件数
①	ジェンダー平等につながる取組の推進	55件
②	女性のエンパワーメントの推進	20件
③	性別等に起因した様々な困難を抱える人々への支援の充実	36件
④	その他	40件

※「豊島区基本構想・基本計画第1編第2章3-2「誰もがいつでも主役」の実現に向けた取組方針(2)ジェンダー平等の実現」に合わせた分類

① ジェンダー平等につながる取組の推進

- 理解が深まればよいと思う。(男性、30~39歳)
- 豊島区に住んでいながら、このアンケートで豊島区が色々頑張ってることを初めて知りました。もっと広報活動したほうが良いと思います。(女性、50~59歳)

※詳細は資料1-3ジェンダー平等に関する住民意識調査報告書(案)のとおり